

2016年7月7日

日本船主協会

君津港にて鉱石専用船「ORIHIME」 見学会を開催

～「海の日」を中心とした海運イベント～

日本船主協会(以下船協)は、海運の重要性に対する一般の方々の理解を深めていただくため、特に青少年を対象に海運や船員の仕事への理解増進に取り組んでおります。今年度は昨年度に引き続き、政府と日本財団が中心となり、7月中旬～8月下旬にかけて『海と日本プロジェクト』として多様な行事が予定されており、船協も「船ってサイコ～2016」と題して船内見学会などを展開する予定です。

今般、その一環として、日本郵船株式会社の協力を得て 7月7日(木)君津港に停泊中の鉱石専用船「ORIHIME」見学会を開催しました。

見学会では、玉田船長をはじめ日本人乗組員の方々の引率により、船内の船橋、機関室などを見学したほか、スケールの大きな荷役の様子を見学することができました。

参加者らは初めて見る鉱石船の大きさ(333メートル・25万トン)に驚きながら、荷役、機関等について積極的な質問がなされ、大変有意義な見学会となりました。



船協では今後も皆様に様々なイベントをご紹介できるよう取り組んでいきます。

